

令和6年度 大規模地震時医療活動訓練について

大規模地震が起きたときには、負傷者が大量に発生することが懸念されます。 そのため、被災地における医療活動や被災地外への負傷者の搬送等について、 毎年度、国や地方公共団体等の関係機関が連携して、組織体制の機能と実効性を 検証するとともに、相互の協力の円滑化を図るための訓練を行っています。

今年度は、以下のとおり、総合的な実動訓練を実施します。

1 訓練の概要(別紙参照)

実 施 日:令和6年9月27日(金)・28日(土)

訓 練 想 定:首都直下地震により、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県に甚大な

被害が発生

参加機関等:内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省(DMAT事務局

含む)、国土交通省、海上保安庁、防衛省

国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、東日本高速道路株式会社、中日本高

速道路株式会社

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県 等

2 主な訓練項目

(1) DMATの参集・活動訓練

- ・ 本部の設置・運営、各被災都県への配分等の図上訓練
- 参集、地域医療搬送、医療活動等の実動訓練など
 - ※ DMAT: Disaster Medical Assistance Team、災害派遣医療チーム。大地震等 の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急 治療を行う、厚生労働省の認めた専門的な研修・訓練を受けた災害派 遣医療チームです。

(2) 地域医療活動訓練

- 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県それぞれで実施
- 保健医療福祉調整本部の設置・運営や地域医療搬送訓練など
 - ※ 地域医療搬送:地方公共団体や病院が、各防災関係機関の協力を得て、ヘリコプター、救急車等により患者を搬送する医療搬送のことです(県境を越えるものを含み、広域医療搬送(後述)を除きます)。

(3) 広域医療搬送訓練

・ 被災地内SCU(入間基地)から重症患者を被災地外SCUへ航空搬送

※ 広域医療搬送:国が各機関の協力の下、自衛隊等の航空機を用いて、患者を被災 地内の航空搬送拠点から被災地外の航空搬送拠点まで航空搬送 する医療搬送のことです。

※ SCU: Staging Care Unit、航空搬送拠点臨時医療施設。患者を航空機で搬送するために、症状の安定化を図り、搬送を実施するための救護所として、被災地及び被災地外の航空搬送拠点に設置される施設のことです。

3 問合せについて

次の区分により、それぞれ下記の問合せ先へお願いします。

① 訓練概要のうち

DMATの訓練内容等: 厚生労働省DMAT事務局

都県の訓練内容等: 各都県担当課

広域医療搬送の訓練内容等: 内閣府政策統括官(防災担当)付

② 大規模災害時の医療体制・制度等: 厚生労働省医政局地域医療計画課

③ その他: 内閣府政策統括官(防災担当)付

<問合せ先>

- 1 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地方·訓練担当)付 楮本 元 TEL 03-3503-2236(直通)
- 2 厚生労働省医政局地域医療計画課災害時医師等派遣調整専門官 赤星 昂己 TEL 03-3595-2185(直通)
- 3 厚生労働省 DMA T事務局(独法国立病院機構本部 DMA T事務局) 市原 正行 TEL 042-526-5701(直通)
- 4 埼玉県保健医療部医療整備課 TEL 048-830-3643
- 5 千葉県健康福祉部医療整備課 TEL 043-223-3879
- 6 東京都保健医療局医療政策部救急災害医療課 TEL 03-5320-4445
- 7 神奈川県健康医療局保健医療部健康危機·感染症対策課 TEL 045-285-0656

DMATの訓練概要

○訓練の目的

- 大規模災害への対応能力向上のため、 DMATの組織的な運用を検証
- DMATの参集とニーズに応じた被災地への 配分
- 被災地から被災地外への傷病者の医療搬送

○訓練内容

- 必要なDMAT本部の設置と運営
- DMATの参集拠点への参集
- DMAT本部及びDMATによる医療機関の調 査、被害状況把握
- 広域災害救急医療情報システム(EMIS) による医療機関の被害状況共有
- 医療機関への必要な支援活動実施
- 衛星電話・衛星回線・無線等の通信機器の 活用
- 各地域の実情に応じ、現場活動、地域医療 搬送、SCU、機内活動等を適宜組み合わ せて実施
- 必要な関連機関との連携訓練の実施

○DMATの参加について

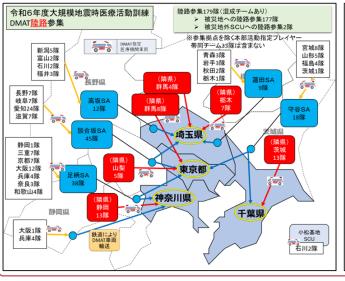
- 被災地内の医療機関:約200施設 (1都3県合計。災害拠点病院、DMAT指 定医療機関等)
- 被災地外から参集、支援活動を行う DMAT315隊(301病院から約1,500名)
- 訓練コントローラー約400名 (DMATインストラクター等)

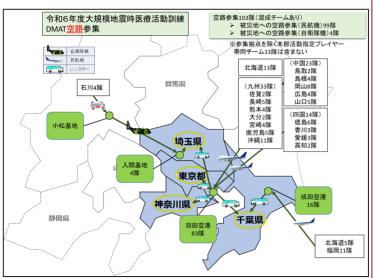
○訓練日程

- 9月27日(金)11時~:DMAT事務局及 び被災地内のDMAT本部の設置、参集 DMATの各被災都道府県への配分等の連 絡調整を図上訓練として実施
- 9月28日(土)終日:DMATが被災地に 参集し、被災地想定の都道府県庁での本 部活動、災害拠点病院等での医療活動等 を実動訓練、図上訓練を組み合わせて実 施。
- 9月28日(土):入間基地及び小松基地間での広域医療搬送の実施。

○DMATの被災地への参集方法

- 北海道ブロック:空路(民航機利用)
- 東北、関東、中部、近畿ブロック:陸路
- 中国、四国、九州・沖縄ブロック:空路(民航機利用)
- 石川県の D M A T 4 隊が小松基地から自衛隊機により入間基地に参集





埼玉県の訓練概要

- ○日時:令和6年9月28日(土)8時30分開始(予定)
 - ※ 埼玉県DMAT調整本部及びDMAT参集拠点本部は7時30分開始(予定)
- ○場所:埼玉県庁、災害拠点病院、訓練参加病院、航空自衛隊入間基地、高坂・蓮田SA等
- ○訓練想定:東京湾北部地震(県内最大震度6強)
- ○訓練概要
- 埼玉県保健医療調整本部の設置運営訓練
- ・ DMAT等の本部設置運営訓練(県調整本部、活動拠点本部等)
- · DMAT等による病院支援、患者搬送訓練
- SCUの設置運営訓練航空搬送訓練
- ○訓練参加機関:

(航空自衛隊)

入間基地

内

済生会川口総合病院

口市立医療センタ

埼玉県、県内災害拠点病院、県内災害時連携病院、県内病院、埼玉県医師会、埼玉県歯科医師会、埼玉県看護協会、埼玉県助産師会、埼玉県薬剤師会、

埼玉県透析医会、埼玉JRAT、埼玉県栄養士会、

日本赤十字社埼玉県支部、埼玉県社会福祉協議会、

埼玉県警察本部、自衛隊、協定締結団体・事業者等

国立病院機構埼玉病院

取材等に関する問い合わせ先 埼玉県保健医療部医療整備課 TEL:048-820-3643

TEL: 048-830-3643

埼玉医大病院

埼玉医大総合医療センタ



いたま市民医療センいたま市立病院

医大さい

たま医療セ

小児医療センター

草加市立病院

獨協医大埼玉医療センタ

埼玉医大国際医療センター

防衛医科大学校病院

千葉県の訓練概要

○日時:令和6年9月28日(土)9時00分開始

取材等に関する問い合わせ先 千葉県健康福祉部医療整備課 TEL: 043-223-3879

○場所:千葉県庁、県内災害拠点病院、訓練参加一般病院、

訓練参加福祉施設、訓練参加保健所、成田国際空港

○訓練想定:千葉県北西部直下型地震(県内最大震度7を想定)

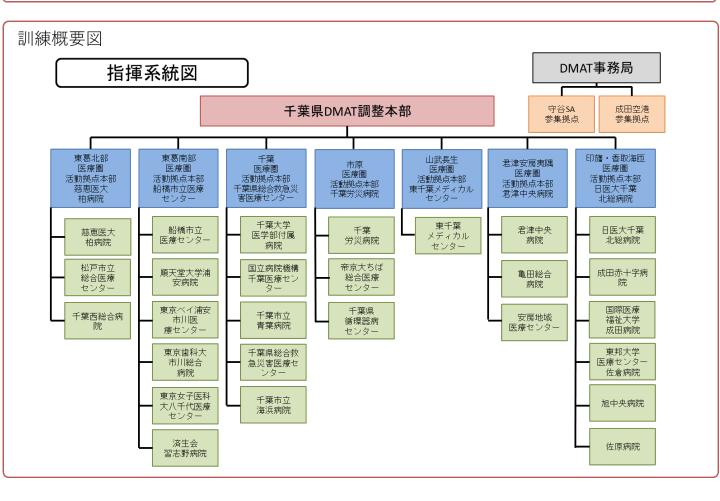
○訓練概要:本部運営訓練、災害拠点病院・DMAT訓練、ロジスティクス訓練、

小児周産期訓練、DPAT訓練、地域別活動拠点本部訓練

○訓練参加機関:千葉県、保健所、市町村、千葉県警、千葉市消防局、自衛隊、

千葉海上保安部、県内災害拠点病院及び一般病院、国境なき医師団、

朝日航洋、日本医療防災技術研究所、千葉大災害治療学研究所



東京都の訓練概要

○日時:令和6年9月28日(土)8時00分開始(予定)

○場所:東京都庁、医療対策拠点病院、災害拠点病院、災害拠点連携病院、災害医療支援

病院、立川駐屯地、羽田空港、各高速道路SA等

○訓練想定:都心南部直下地震(都内最大震度7を想定)

○訓練概要:都本部(保健医療福祉調整本部)設置・運営訓練、二次保健医療圏医療対策

拠点設置・運営訓練、災害拠点病院等院内訓練、各種ロジスティック訓練、

航空機を活用した地域医療搬送訓練、EMIS入力訓練等

○訓練参加機関:東京都庁、災害拠点病院、災害拠点連携病院、災害医療支援病院、

災害医療コーディネーター、災害時小児周産期リエゾン、東京DMAT、

日本DMAT、日赤災害医療コーディネートチーム、JMAT、

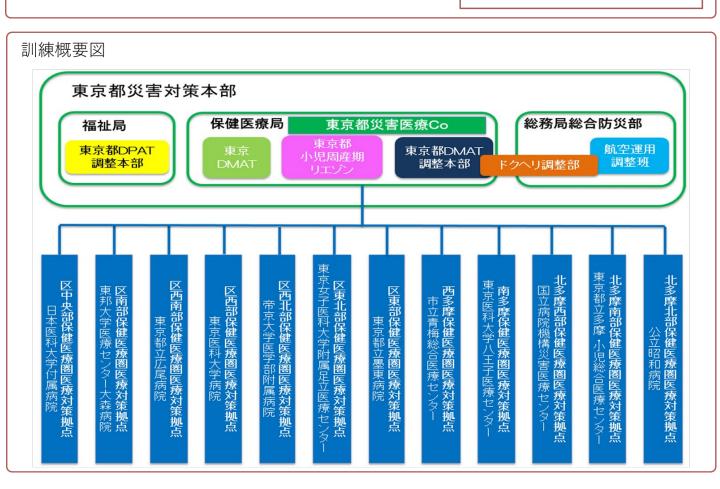
(地独)東京都立病院機構、東京都看護協会、DPAT、DHEAT、 災害時透析医療ネットワーク、東京都災害薬事コーディネーター、

陸上自衛隊、東京消防庁 等

取材等に関する問い合わせ先

東京都保健医療局医療政策部救急災害医療課

TEL: 03-5320-4445



神奈川県の訓練概要

○日時:

令和6年9月27日(金曜日)11時00分~17時15分(予定) 令和6年9月28日(土曜日)7時00分~16時00分(予定)

神奈川県健康医療局保健医療部 健康危機・感染症対策課 課長 鈴木 045-285-0654 災害医療グループ 山本 045-285-0656

○場所:

神奈川県庁、政令市、保健所設置市、県内各保健福祉事務所、県内災害拠点病院、県内災害拠点精神科病院、福祉訓練参加施設、空路搬送訓練施設 等

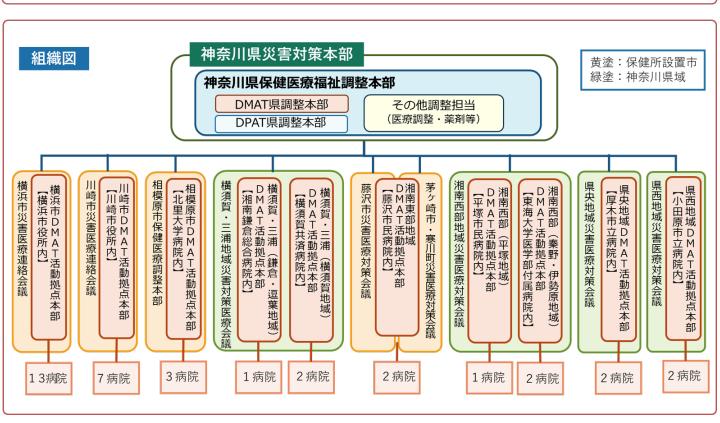
○訓練想定:都心南部直下地震(県内最大震度6強)

○訓練参加機関:

神奈川県、保健所設置市その他関係市町村、県内災害拠点病院その他医療機関、陸上自衛隊、第三管区海上保安本部、県医師会・県歯科医師会・県薬剤師会等関係団体、日本赤十字社神奈川県支部、ライフライン関係事業者、Rail-DiMeC研究会、県内福祉施設 等

○訓練実施方針

取組み1 (保健領域)		保福事務所・保健所も含めた県内の災害医療体制の確認 (DMAT等を受援できる組織体制・市町村も巻き込む)
取組み 2 (福祉領域)	7.7.7	福祉部門と災害医療部門の連携 (保健医療福祉調整本部の設置)
取組み3 (医療領域)	<u> </u>	被災医療機関の 医療支援訓練 (DMAT・DPAT・透析・小児周産期リエゾン等)
取組み 4 (ロジ領域)	3	医療機関等の ライフラインを中心とした支援訓練 (燃料・給水等を含む物資の補給訓練等)



広域医療搬送訓練

